

「現状・原因・解決策の3つの視点に沿って情報を整理し、意見をまとめよう！」


(意見を組み立てる段階 第11時)

～ どの情報を選び、どの順にすれば、説得力のある意見を述べることができるかな？ ～

1 目標

集めた情報を基にそれぞれのテーマに沿って、「現状からの未来予測」「問題の原因」「解決策」の視点に沿って整理し、主張をまとめることができる。

2 展開

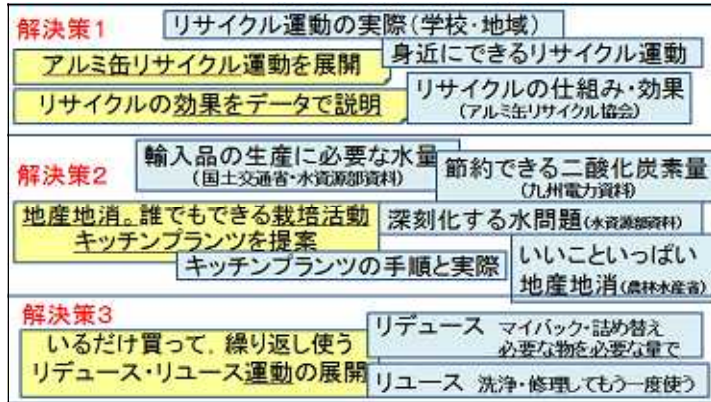
児童の学習活動及び児童の反応	教師の指導（・・・本時における評価）
<p>1 本時の課題を確かめる。</p> <div data-bbox="177 600 724 748" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 「現状からの未来予測」「原因」「解決策」の視点に沿って整理し、主張をまとめよう。</p> </div> <p>2 意見文の組み立てについて、確認する。</p> <div data-bbox="209 846 683 1055" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主張したい内容をまとめよう</p> <p>現状からの未来予測 問題の原因はここにあった！ 私たちに、今できる解決策！</p> </div> <p>3 グループで、情報を整理する。</p> <p>(1) ツリー図をもとに、活動を通して収集した情報を分類、グループ化する。</p> <p>(2) 分類した情報の中から必要な内容を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主張を伝えるのに、有効であるか。</li> <li>・ だれがどの内容を伝えるか。</li> </ul> <p>(3) (2)で選択した内容を並べて全体を見直し、多様な視点で伝えることができるか、問題解決に向けて説得力があるかなどを検討する。</p> <p>4 「現状からの未来予測」「問題の原因」「解決策」の視点に沿って整理し、主張を書く。</p> <div data-bbox="288 1637 624 1899" style="text-align: center;">  </div> <p>5 学習の経過と今後の見通しを報告する。</p>	<p>教師の指導（・・・本時における評価）</p> <p>パネルディスカッションについて、目的と内容・方法を確認する。目的は、「地域の人々に環境保全を呼び掛けるために、事前に様々な立場からの検討を行い、より納得できる内容にする」ことである。内容は、活動を通して明らかにしてきたことを中心とする。</p> <p>意見文の組み立てについては国語科の学習で学んでいる。今回のパネルディスカッションでは、3つの型に沿って、どの論も同じ形式でまとめることで分かりやすくすることを確認する。</p> <p>多様な立場から論が展開できるか、多様の中にも共通する主張に結びつけることができるかを検討するように確認する。</p> <p>活動を通して収集した情報（学習シート、記事、写真、図、調査結果、活動の記録など）を活用させる。</p> <p>実験観察を通して裏付けを確かにしたことや、実際の活動を通して得られた事実などを生かすように指導する。</p> <p>グループで随時検討することで、協同で学ぼうとする意識を高める。役割分担が上手く行かない場合は、理由を聞いて話し合わせ、双方ともに納得がいくように配慮する。</p> <p>主張を書き終えたら、フリップを作成させる。</p> <div data-bbox="746 1597 1445 1823" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価(3) [技能・表現] (意見文の内容を評価)</p> <p>(基準B) 「現状」「原因」「解決策」の視点に沿って、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>(指導) 収集した情報を活用させたり、サンプルを示して参考にさせたりする。</p> </div> <p>児童の努力を認めるとともに、主張を書き終わることができなかった児童への配慮を行う。</p>

### 3 授業の考察

#### (1) 段階的に情報を整理

児童は、「地球環境を守る」ために、たくさんの情報を集め、「今できること」を考え、実現に向けて活動してきた。次は、この活動を地域にも広めることができるように、内容をまとめ、パネルディスカッションで公開討論を行う。

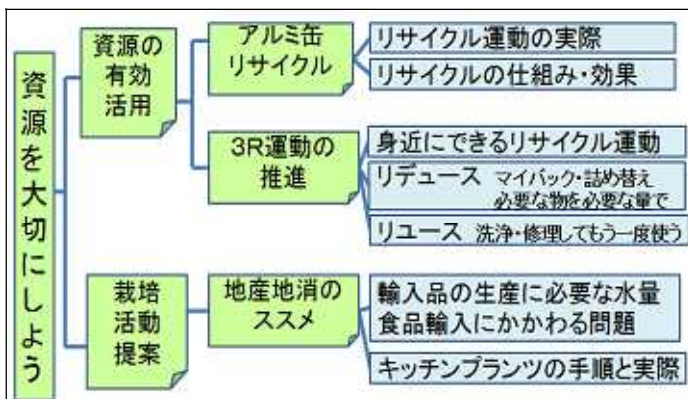
パネルディスカッションに向けて、どの内容を発表すると多様な視点で伝えることができるか、どの資料を使って議論を展開すると説得力があるかなどを決めるために、情報を段階的に整理させた。



資料1 資源グループが分類した情報内容



資料2 資源グループの発言内容の一部



資料3 資源グループが整理した主張内容

資源グループは、まず最初に、資料1のように、解決策ごとに集めた情報を分類した。

資料は、学習シート、記事、写真、図、調査結果、活動の記録など、多岐にわたっており、熱心に追究してきたこと、どれも自分たちにとっては大切なものであることが感じられた。

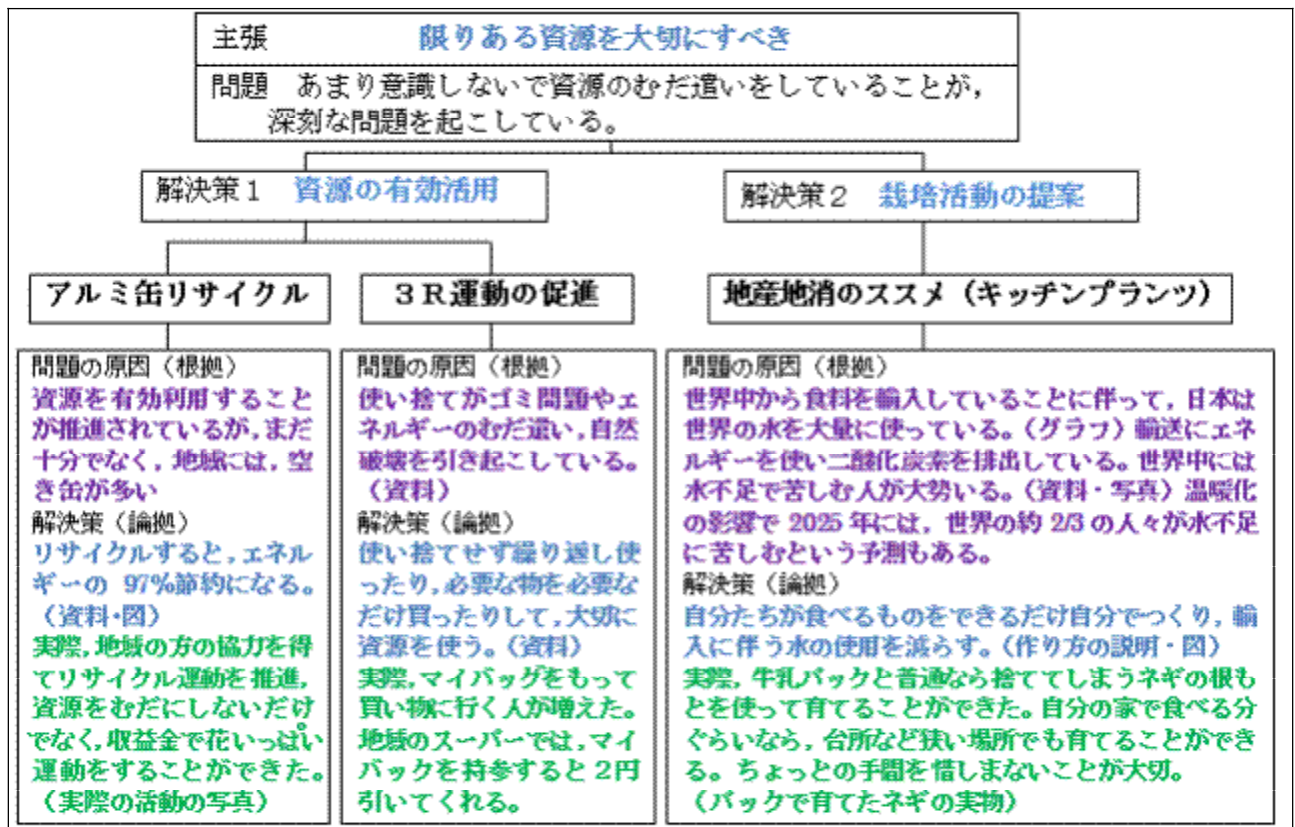
次に、主張したい内容を選択する。経験を通すからこそ、一つ一つの内容に思い入れがあるが、主張を伝えるのに有効な内容について、十分に話し合い、グループのみんなの納得を得た上で選択していった。

話し合いでは、実際の活動を通して得られた事実や、感じたことなどを生かそうとしていることがうかがえた。

選択した内容で、関係付けられる内容は統合し、集約してタイトルを付けさせた。

最後に再度、多様な視点が入っているか、共通する主張がテーマに沿っているかなどを確かめさせた。

- (2) 3つの視点に沿った論の組み立て  
 資源グループは、資料4のように、論を組み立てた。



資料4 資源グループの主張の構成

児童は、まず、リサイクル運動に協力してもらっている地域の方への感謝して、アルミ缶運動の実際やアルミ缶運動の効果を伝えたいと考えた。次に、力を入れてきた地産地消のススメについて、「世界の水を使う問題」と「水不足に苦しむ世界の人々」を伝えることで、切実感をもってほしいと考えた。

(実際どのように討論を展開したかについては、本時展開における「討論の記録3」で述べている。)

〈今の世界の現状〉  
 日本は世界の水を使っている国です。日本が輸入する食料の生産に必要な水の量は年間数百億<sup>m<sup>3</sup></sup>に相当するといわれており、世界の水問題の深刻化は私たちに無関係ではおぼせません。  
 このグラフは「主な輸入品に必要な水量」です。275.9億<sup>m<sup>3</sup></sup>。このグラフは「日本国内の水使用量」です。275.9億<sup>m<sup>3</sup></sup>。農業用水の約500億<sup>m<sup>3</sup></sup>になっています。

世界では水に困っている国があるのに日本はこのままでいいのでしょうか。だから、私達は危機感を持って今、自分かてできることをしなければなりません。  
 自分かてできることとは?  
 ① 水をえんぴつのおおきさに出す  
 ② むだに水を使わない  
 ③ 風呂の残り湯を洗たくに使う  
 ④ お皿を洗うときはため洗いをする  
 ⑤ ネギ栽培

資料5 「世界の水を使っている問題」についての記述



資料6 「リサイクル」についてのフリップ